

# 目指す姿と方向性

北海道の優位性を活かし、近年の社会情勢をうまく取り込みながら、人口減少下において も、人々が安心して暮らし続けられるだけでなく、地域資源が活かされ、魅力的で暮らしや すく、外からも人を呼び込み、地域が活性化するまちを目指します。

#### 北海道の現状と課題

- ▶ 人口減少と過疎化の進展▶ 厳しい経済情勢
- ▶ 広域分散型都市構造▶ 自然災害リスクの高まり
- ▶ 地球環境問題の深刻化
- ➤ 交通·物流

社会情勢の変化

### 北海道の優位性

- ▶ 地理的特性・広大な面積 ▶ 豊富なエネルギー資源
- ➤ 優れた自然環境 ➤ 寒冷地で培われた技術
- ▶高い食料自給率
- なエネルギー資源 ▶ 脱炭素化
- · · 表化
- ▶ 新型コロナの影響
- ➤ SDGsの推進 ➤ 未来技術の活用
- ▶ 防災・減災・国土強靭化



目指す姿

誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、 資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち





連携の事業手法で整

備(室蘭市)

# 取組の視点と効果

「北の住まいるタウン」の実現に向け、北海道の優位性や社会情勢の変化、自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、「コンパクトなまちづくり」「脱炭素化・資源循環」「暮らしやすさの向上」という3つの方向性に沿った取り組みを掛け合わせ、「災害に強いまちづくり」を意識しながら、地域の多様な主体が連携・協力して進めていくことにより、地域が抱える多岐にわたる課題の解決につながる相乗効果・波及効果を生み出し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていきます。

公共施設の機能集約 と新機能を付加した まちなか拠点を官民

## コンパクトなまちづくり

○市街地の無秩序な拡大抑制

- ○公共公益施設の集約 ○まちなか居住の推進と地区ごと の居住エリアの集約
  - ○コミュニティ拠点の形成○空き地・空き家等のマネジメント
  - ○災害リスクを踏まえたコンパク ト化
  - ○まちの魅力づくり など 取象



○再生可能エネルギーの活用促進

<mark>廃棄物由</mark>来のバイオ

ガス活用 (稚内市)

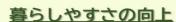
- と地産地消 ○地域でのエネルギー共有 ○昭島表化・資源循環による産業
- ○脱炭素化・資源循環による産業 の創出
  - ○建築物や住宅の省エネ化 など

取組の<u>かけ算</u> により 一体的に推進



楽しみながら防<mark>災を学ぶ「サバイバル</mark>フェスティバル」の開催(鹿追町)

- ○安心して暮らせるまちづくり ○地域を支えるコミュニティづくり
- ○交通や物流の確保
- ○地域のポテンシャルを活かした移 住・交流の促進
- ○健やかに暮らせるまちづくり





路線バス内での移動販売を行う「マルシェバス」の実証実験(帯広市)

## <u>災害に強いまちづくり</u>

### 相乗効果・波及効果

- ・都市経営の効率化
- ・地域の魅力の創出
- ・移住定住の促進
- ・温室効果ガスの削減
- ・暮らしの安全・安心の向上
- 生活便利性の維持向上
- ・コミュニティの再生
- ・地域経済の再生・活性化・好循環
- ・地域資源の循環や利活用の拡大
- ・物流の効率化

- まちなかのにぎわい創出
- ・雇用創出 ・防災力の向上
- ・自然環境の保全
- 関係人口の創出・拡大

#### 《将来像》

多岐にわたる地域課題の解決 将来にわたって持続可能なまちづくり